

FAIRPLAY NEWS

フェアプレイで日本を元気に
あくし、あいきつ、ありがとう



心に残る試合

今回は、フェアプレイ大賞審査員特別賞に選ばれた東野恒紀くんの作品を漫画にしました。

① 僕の弟は、テニスを始めて間もない小学1年生の頃、小さな大会に出場した

② アウト!

③ 相手の選手、すごく強いわね

④ あつ!

⑤ 相手は6年生で、テニスを長くやってるし、力の差は仕方ないよ

⑥ アウトか...

⑦ あつ!

⑧ アウトか...

⑨ それはアウトとコールせず、わざと打ち返してくれたように僕には見えた

⑩ 初心者の弟への思いやり、あったのさ

⑪ どんな時でも全力で戦うのが、フェアプレーかもしれません

⑫ でも相手の事を思う、やさしさも素晴らしいフェアプレーだと思う

オリンピックへの道 スケートボード 西村碧莉選手

楽しいから夢中になれる。その先に、オリンピックという目標ができた。

新しい技を習得するのが楽しくて、友達に教えてもらったり、DVDを見て研究したり。そんなふうに分から次々と挑戦できる自由な雰囲気もスケートボードの魅力という西村選手は、現在中学3年生です。今年6月には、世界最高峰の大会に出場。素晴らしい技に対しては、選手同士が褒めあう雰囲気、言葉は通じなくてもすぐに打ち解けられたとのこと。相手に敬意をはらうフェアプレイの気持ちに通じるものがあるかもしれませんね。スケートボードが東京オリンピックに新しく採用されることについて尋ねると、「今まで好きだから夢中でやってきたけれど、大きな目標ができてとても嬉しいです」と答えてくれました。

あなたが見た、聞いた、実践した「フェアプレイ」を教えてください。

日本フェアプレイ大賞 2017 エピソード募集中!

締め切り 2017年1月31日(火)

先週の試合。ヒットが出て二塁ランナーのぼくは、三塁ベースを蹴って、ホームに突入! うまくキャッチャーのタッチをよけてホームイン!! ……のはずだったんだけど、判定はアウトだった。ぼくが「えー、タッチされてないよ!」と言おうとした瞬間、キャッチャーが審判に「タッチできませんでした」と言った。ぼくの得点は認められた。「みんなごめん。タッチできなかった。」「いや、ぼくの送球がちよっと逸れたせいだよ。」と言いつつ相手チームをぼくは「すごい!!」と思った。

上手に書こうと、しなくても大丈夫! 起きたこと、おもったことを素直に書けばいいんだよ。例えば、こんなふうに…

「これフェアプレイかもしれない」と感じたら、応募してね!

「先生へ」 応募方法などの詳細は「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン」ホームページに公開していますので、ご覧くださいませようお願いします。